

### 3. 清掃関連施設整備計画の策定について

#### ○24 番(森戸洋子議員)

最後、清掃関連施設整備の計画についてであります。今日、皆さんのお手元に3種類の資料をお渡ししております。一つは、現状どうなっているのかというのが、このA3の資料であります。素案として、これからパブリックコメントにかけるわけですが、配置案その1と配置案その2があって、市は配置案その1でいきたいと考えているようであります。

私は、二つの協議会が理解が得られていないという中で、パブリックコメントを実施されたというのは、極めて遺憾な思いをしております。市長は、閉会中の特別委員会の中でも、地元との話し合いによって再整備が成り立つ、これからも丁寧かつ丁寧に対応したいと述べていらっしゃいます。このことと相反するのではないのでしょうか。

パブリックコメントの実施を市報で発表していますが、私は、住民の理解を得るということを見ると、いったん中止すべきではないかと思っておりますが、市の見解はいかがでしょうか。

#### ○環境部長(柿崎健一) それでは、清掃関連施設の関係でございます。

清掃関連施設の計画を策定するに当たりましては、今、森戸議員の方からもご紹介いただいたように、この間、二つの協議会を立ち上げさせていただき、二枚橋焼却場跡地の方の協議会につきましては10回、協議会をさせていただき、また、施設の内外の清掃関連施設の見学会も4回ほど開催させていただき、更には、勉強会という形で開催させていただいたところでございます。更に、設立前から、東部の環境を良くする会という団体の方へも、市長とともに出席させていただき、協議会への参加等についてお願いをしてきたところでございます。

このような形で、我々とすれば、ご理解をいただけるよう、慎重かつ丁寧に進めさせていただきましたが、二枚橋焼却場跡地を候補地にすること自体に反対することによって、変わらず、現時点において全員の方のご理解をいただけているという状況ではございません。

また、一方、中間処理場の方につきましても、協議会の回数は1回少ないですけれども、施設見学会等々につきましては、二枚橋の方々と一緒に開催させていただきまして、市の提案につきまして、二つの場所での計画ということについては、一介のご理解は示していただいているという形になっておりますので、我々とすると、そういったことでやってきましたけれども、今後のスケジュール等を考えていきますと、なかなか、これ以上パブリックコメントを実施しないで計画を策定するという選択肢も、実は検討いたしましたけれども、現在ある市民参加条例から考えますと、それはかなり難しいのかなと。我々とすれば、当初予定していたスケジュールを、何か月か延伸させていただいた上で理解に努めてきたというところもございます。

このような状況の中で、平成28年度、平成29年度2か年での策定を考えて予算の方を作成させていただいておりますので、我々とすると、平成29年度までに計画を策定するためには、どうしても、この1月の中旬ごろまでにはパブリックコメントを終了しないと、計

画自体の策定ができないということになりますので、今回につきまして、我々としましては、市の責任においてパブリックコメントの実施及び計画の策定に進んでいるところでございます。

○24番（森戸洋子議員） 市はご都合主義なんですよ。市役所というのは、住民の声を聞いて、住民の理解を得て進めるんじゃないんですか。

実は、今日、皆さんのお手元に、二枚橋焼却場利用についてのアンケートのご報告と今後についてというのをお配りしております。これは小金井東部の環境を良くする会が3年前に、東町一丁目と五丁目、1,000世帯にアンケートをとった。ここをどうしたらいいかと聞いたら、野川公園、武蔵野自然公園に囲まれた公園の要として、都民のいこいの場となるのに最も適した地であり、自然公園などを提案したいと、良くする会が提案したら、79名は賛成だということだったんですね。それで、裏面を見ていただきたいんですが、このことを稲葉元市長に2014年7月8日に渡して、このときの稲葉元市長については、定例会での市長発言趣旨ということで、小金井東部の環境を良くする会に稲葉元市長が出席されて、今すぐ市民との話し合いの場を設けることはできない、こう発言をされたというんですね。

それで、私は、2010年12月、2011年3月、2011年8月のごみ処理施設建設等調査特別委員会の中で、この中間処理場について、どうするのかということは何度も聞いてきました。その時に、稲葉元市長は、考えなければいけないということで終わっていたりして、結局、この5、6年はほとんど課題が、私たち議会にも説明されない、一体、部局は何をやっているか分からない、こういう状況だったんです。で、切羽詰まって、ここで住民に、時間がないからパブリックコメントをやるよという、これはないでしょう、市長。これが本当に丁寧と言えるんですか。慎重かつ丁寧にと西岡市長が言われたことを信じてきましたが、しかし、余りにもこのやり方はひど過ぎるんじゃないでしょうか。

私は、年度内の計画策定はいったん凍結すべきだと思っています。それは、なぜなら、一つは、そういう、自分たちの責任を曖昧にしておいて、時間がないから早く作らなきゃいけないという、この筋は市民には通らないということです。二つ目には、他市の例を見るとどうかということで、他市の例も2年、3年かけて、住民と話し合って作っていますよ。武蔵野市も今、そういうことをやっています。狛江市も、ちょっと調べると、当初、現在ある土地を、市は設置しようと思ったと、しかし、住民から反対があって、説明会を開催したけれども、住民との話し合いがつかなかった。改めて仕切り直しをして、策定委員会を設置して、建設場所の選定を行い、適地の判定条件を、30項目の選定条件を出して、幾つかの候補地、適地を検討して、2か所に絞り込んで、最終的に現在地を選定したという経過があるわけです。

したがって、今の市長のやり方は、とにかくここなんだという、これがかみ合っていないんですよ。協議会は、なぜ二枚橋じゃなければいけないのかと言って、市からは、公園はこういう理由があってだめなんだとか、そういう説明をされていますけれども、それは、言われたから出すということであって、自分たちが本当にそういうことを考えてやったという、

この積み上げが見えない。だから、住民は不信感を持つわけです。

しかも、二枚橋の焼却場があって、50年以上公害、煙害に悩まされてきた、私も、あそこの五丁目に移って、のどがいがらっぽくなったけれども、煙突がなくなったら、それはなくなった。ああ、こういうことなんだと思いました。そういう、50年間も放っておかれて、いきなり、ここで清掃関連施設を作るから、時間がないから決めてくれって、これは、本当に住民自治と言えるんですか。

是非、私は、改めて提案したいと思うんですが、市長、候補地について選定する委員会を作っていただきたい。なぜ中間処理場用地と二枚橋焼却場用地じゃなきゃいけないのか。そこになるのか、ほかに適地があるかもしれない、そういうことを是非、議論していただきたいと思うんです。狛江市はそういう議論をし、2年間で建設場所を決定したというわけです。中間処理場が老朽化していることも分かります。しかし、それは、私はずっとこの10年間指摘し続けてきたことなんです。しかし、市はこの問題について答えなかった。したがって、市の責任なんです。場所を決めるということも、中間処理場が老朽化したこういう状況になっているということも、市民の責任じゃないわけで、是非、選定委員会を作っていただけないかと思います。

それから、最後ですが、皆さんに二枚橋焼却場用地の中にできる新たな、他市のごみ処理施設の実施計画などをお示ししております。この比較で見ると非常によく分かるんです。小金井市が建てているこの面積と、それから、その他市が出している面積は、例えば、空き缶については、小金井市は500平米としています、しかし、この他市は289平米なんですね。この裏面を見ていただくと分かるんですけれども。もう一つ、人口は倍で、空き缶も多分倍だと思うんですが、何でこっちは500平米でやっていて、289平米でできるんですか。やっぱり、面積なんかについても十分に検討されていない。事業計画ももう一回見直すべきだ、私はそう思います。

以上、述べましたが、時間がありません。市長の答弁をいただきたいと思います。

○市長（西岡真一郎） 森戸議員の一般質問にご答弁いたします。

まず、私も小さいころから見つめ続けてきた二枚橋焼却場でございます。東町地域を中心に、長い間、その施設にご苦労された方々には、本当に心からおわびを申し上げなければいけないと思っておりますし、また、感謝も申し上げなければいけないと思っております。

私が市長になって、この清掃管理施設の再整備は決断もして、このまま何も手だてを講ずることがなければ、中間処理場は老朽化に対応が間に合わないだろう、したがって、この清掃関連施設の再整備にも取り組まなければいけないという思いでやってまいりました。市民の方々の声も聞く責任があると考えておまして、パブリックコメントにつきましては実施させていただきます。